

ユネスコ世界記憶遺産登録
舞鶴引揚記念館

Maizuru Repatriation
Memorial Museum



引揚記念公園



昭和45年(1970)、「岸壁の母」の舞台となった舞鶴引揚援護局跡地を見下ろす丘陵地に引揚記念公園が整備されました。公園には舞鶴引揚記念館が建設され、引揚橋を見下ろす展望広場には「平和の群像」や「異国の丘」「岸壁の母」の歌詞を刻んだ歌碑などが静かにたたずんでいます。



語らいの像 カリヨン 石のモニュメント



異国の丘・岸壁の母の歌碑 平和の群像 「あゝ母なる國」の碑

復元引揚橋

平成6年(1994)、引揚者が帰国の第一歩を踏みしめ、感動の舞台となった“平引揚橋”が、「引揚を記念する舞鶴・全国友の会」により、展望台の眼下にある平湾に復元されました。



館内のご案内

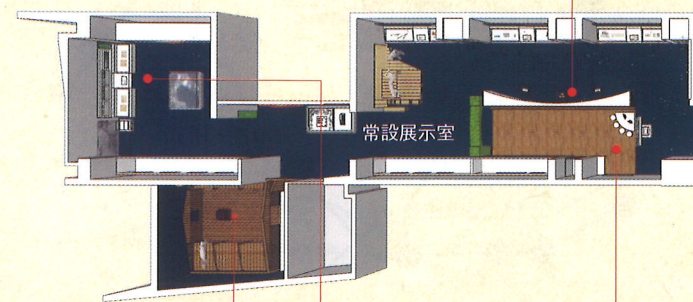
シベリアの地での抑留生活を知る資料をはじめ、引き揚げに関する模型や写真など、全国から約1万6千点の貴重な資料の寄贈を受け、常設展示にて1000点を超える展示をおこなっております。

03 苦境の記憶 ~世界恐慌からシベリア抑留まで~

舞鶴では、主として旧ソ連(現ロシア連邦)、中国などの大陸からの引揚者を迎え入れました。13年間に66万4,531人の引揚者と1万6,269柱の遺骨を受け入れました。終戦時、大陸に残された日本人およそ60万人がソ連へ送られ、その内の約47万2千人がシベリア各地のほか、コーカサス、北極圏等の収容所で長い年月、辛い抑留生活を強いられました。



世界記憶遺産登録資料「白樺日記」



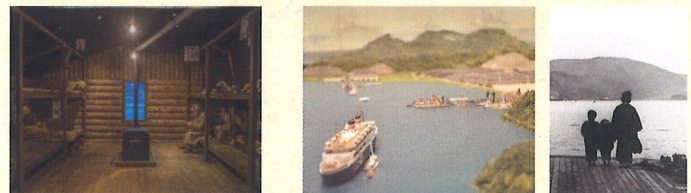
常設展示室

04 帰還そして再会

抑留生活体験室

体験者の回想記録画などをもとに収容所を再現しました。狭く寝心地のわるいベットに横になったり、かばんの中身や極寒を耐えた衣類にも触れることができます。

舞鶴では、引揚者が入港するたびに市民こぞで引き揚げて来られた方々を心から歓迎し、慰問し、勇気づけました。舞鶴港での引き揚げの様子、肉親との再会、そして、いまだ帰らぬ我が子・夫を待つ婦人の姿がいつしか「岸壁の母・妻」といわれ、歌や映画になり、人々の涙をさそいました。



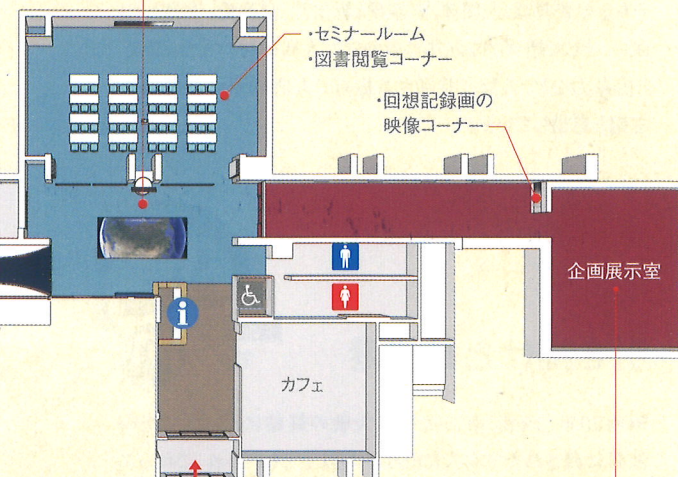
02 タイムトンネル

時代を象徴する印象的な写真により、激動の昭和へと誘います。



01 エントランスホール

- ・時鐘
- ・日本人収容所分布図
- ・ガイドダンス映像



- ・セミナールーム
- ・図書閲覧コーナー

- ・回想記録画の映像コーナー

企画展示室

カフェ

至 駐車場

企画展示室

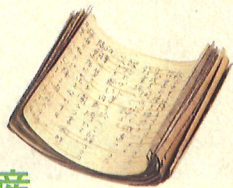
05 平和への祈り

徐々に風化しつつある引き揚げの歴史を後世に継承し、平和の尊さを広く発信するために舞鶴が行ってきた平和への取り組みをご紹介します。



館内では語り部さんからお話が聞けます。

舞鶴引揚記念館と ユネスコ世界記憶遺産



白樺日誌

本記念館は昭和63年(1988)、多くの引揚者が祖国への第一歩を踏みしめ、人生の再スタートを切った舞鶴市平の地に、日本全国からの寄付金を受けた舞鶴市が設立したものです。日本本国への苦難に満ちた引き揚げと筆舌に尽くしがたい旧ソ連領内の抑留生活の歴史を後世に伝え、平和の尊さを世界に発信しています。戦後70年を迎えた平成27年(2015)、その収蔵資料の中から570点が、特に希少性が高く、世界的にも重要性を持ち、広く世界の人々が共有すべき資料として、ユネスコの世界記憶遺産に登録されました。それらの資料は、人間愛、家族愛、祖国愛、同胞愛、平和への願い、そして絶望的な状態に置かれた人間の持つ生きる希望と生命力など、人類に共通する極めて人間的かつ普遍的な主題を発信しています。

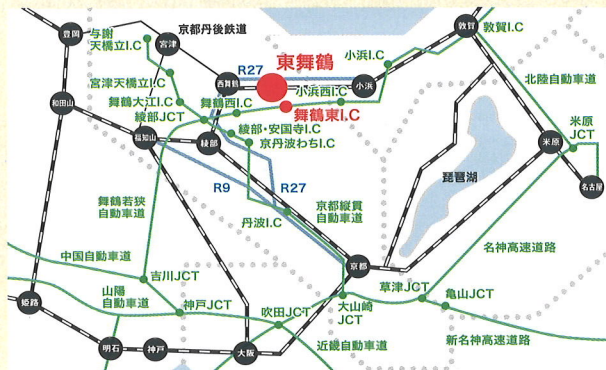
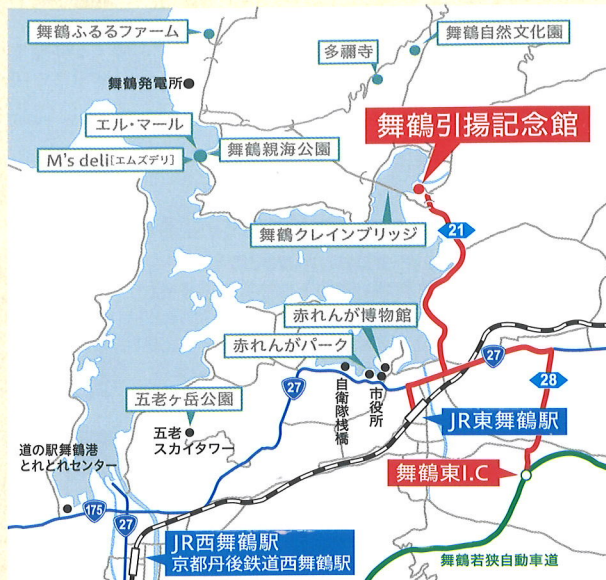
引き揚げと舞鶴港



昭和20年(1945)第二次世界大戦の終結にともない、当時海外に残された日本人は660万人以上ともいわれ、これらの方々をすみやかに帰国させなければならなくなりました。これを「引き揚げ」といいます。

舞鶴港は、政府が指定した引揚港の一つとして、昭和20年10月7日第一船の入港から、昭和33年(1958)9月7日の最終船まで、実に13年間の長きにわたり、その使命を果たしました。昭和25年以降は唯一の引揚港として、「引き揚げのまち・舞鶴」の名を全国に広めました。

●交通アクセス



●入館のご案内

開館時間	午前9時～午後5時まで(最終入館は4時30分までです。)		
休館日	毎月第3木曜日(8月と祝日を除く) 年末年始(12月29日～1月1日)		
入館料	個人	団体(20名様以上)	
	大人	400円	300円
	学生(小学生～大学生)	150円	100円

共通券 一般個人600円 学生個人200円

(共通券は、引揚記念館・赤れんが博物館にご入館いただけます。)

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示ください。入館料が半額になります。

舞鶴引揚記念館

〒625-0133 京都府舞鶴市字平1584番地
TEL.0773-68-0836 FAX.0773-68-0370